

7 南房総市

(安房郡富浦町・同郡富山町・同郡三芳村・同郡白浜町・同郡千倉町・同郡丸山町・同郡和田町の合併)

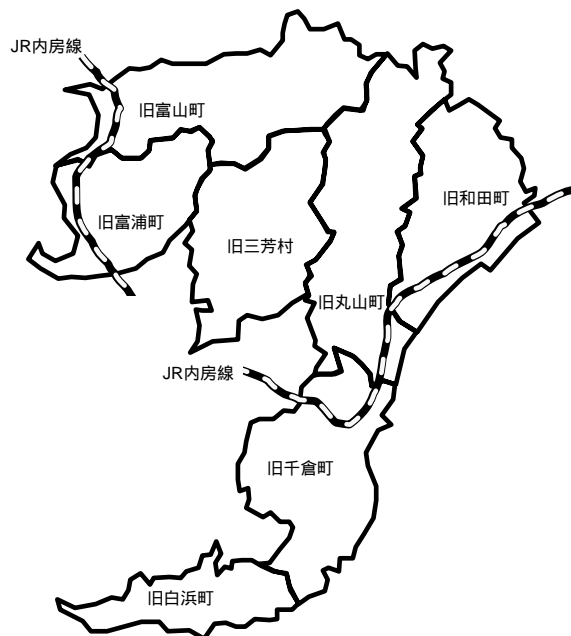


市章

7つの地域を広がりのある花びら7枚にたとえて、南房総の暖かい春のイメージを図案化したものです。南房総市の夢と希望が自然と共存し発展する姿を表しています。

(南房総市ホームページより)

巻末差込の別紙にカラー版あり。



(1) 概況

合併方式 新設方式(安房郡富浦町、同郡富山町、同郡三芳村、同郡白浜町、同郡千倉町、同郡丸山町及び同郡和田町を廃し、その区域をもって南房総市を設置する)

合併期日 平成18年3月20日

事務所の位置 南房総市富浦町青木28

人口 44,549人(平成18年3月1日現在常住人口)

面積 230.22 k㎡

初代市長 石井裕

初代議長 渡邊政久

議員定数 25人

位置・地勢等

南房総市は、平成18年3月20日に安房郡富浦町、富山町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の6町1村が、その区域をもって合併しました。

本市は、房総半島の南端に位置し、北側には県下最高峰の愛宕山(408m)をはじめ、富山(349m)など300m以上の山が連なっています。西側には東京湾、東側及び南側には太平洋と三方を海に囲まれ、その海岸線は、南房総国定公園に指定されています。

また、首都東京から100km圏に位置し、時間距離約95分、県庁所在地の千葉市までは

約 70 分の時間距離にあります。

平成 9 年に開通した東京湾アクアライン，平成 16 年に開通した一般国道 127 号富津館山道路に続き，東関東自動車道館山線が平成 19 年 7 月 4 日には全線開通となりました。東京圏から南房総がより身近になり半島性の解消が期待できます。

気候は，沖合を流れる暖流の影響により冬は暖かく夏は涼しい海洋性の温暖な気候で，一部無霜地域を有しています。四季折々に咲き乱れる花々などの豊かな自然資源と，古代から近代に至る遺跡や社寺などの歴史的資源を有しています。（南房総市ホームページより）

（ 2 ） 合併の背景等

（合併申請書添付書類「廃置分合を必要とした理由」より抜粋）

第 4 廃置分合を必要とした理由

1 位置・地勢

（略）

2 歴史

（略）

3 人口・面積

（略）

4 廃置分合を必要とした理由

富浦町，富山町，三芳村，白浜町，千倉町，丸山町及び和田町の 7 町村は，豊かで穏やかな自然と四季折々に咲き乱れる花々など，沖合いに流れる黒潮の影響を受けた自然資源と古代から近代に至る遺跡や社寺などの歴史資源を有している。

産業面においては，豊かな自然環境を背景に農業・漁業が盛んであり，また，首都に隣接しているという地理的条件のもと，地域の資源を活かした観光業も発展してきた。

しかしながら，近年においては，産業構造の転換や余暇ニーズの変化による人口の減少，少子高齢化などが進み，5 町においては，現在，過疎地域の指定を受けている状況にある。

一方，地方分権時代の到来により，その担い手である市町村においては，住民ニーズを的確に捉え，魅力あるまちづくりを自らの手で進めていくため，政策形成・法務能力など自治能力の向上を図るとともに，財政基盤の強化が強く求められているところである。

このような状況の中，7 町村では，行財政改革に積極的に取り組み，住民サービスの向上を図ってきたところであるが，国・地方を取り巻く現下の経済状況の中，人口規模及び財政規模が小さい各町村においては，現在のサービス水準を維持することも困難なものとなってきたところである。

今後、南房総における中核的都市として、激化する地域間競争に勝ち残るためには、更なる行財政の効率化を進め、財政基盤の強化を図るとともに、それぞれの地域の持つ魅力を有機的に結びつけ、住民ニーズに応じた地域振興策を積極的に展開することにより地域活力を向上する必要がある、これを実現するため、従来より行政面及び住民生活面で結びつきが強かった7町村による合併を行うものである。

(3) 合併の経緯等

平成 14 年

3月22日 館山市、鴨川市、富浦町、富山町、鋸南町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町、天津小湊町が県に合併重点支援地域の指定を要請

3月25日 県が館山市、鴨川市、富浦町、富山町、鋸南町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町、天津小湊町を合併重点支援地域に指定

7月10日 安房地域市町村合併連絡会設置(館山市、鴨川市、富浦町、富山町、鋸南町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町、天津小湊町)

9月4日 安房地域市町村合併任意協議会設置(館山市、鴨川市、富浦町、富山町、鋸南町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町、天津小湊町)

平成 15 年

1月23日 安房地域市町村合併任意協議会廃止

4月1日 館山・安房9市町村合併協議会設置(館山市、富浦町、富山町、鋸南町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町)

平成 16 年

2月25日 館山市議会が法定協議会からの離脱を決議

4月9日 8町村(富浦町、富山町、鋸南町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町)の首長、議長会議で安房8町村合併検討会の設置を合意

4月30日 館山・安房9市町村合併協議会協議会廃止

5月31日 7町村(富浦町、富山町、鋸南町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町)の首長、議長等からなる協議会(任意)の設置

7月11日 和田町において、鴨川市との合併の是非を問う住民投票が実施され、反対多数(合併賛成927、合併反対2,664)

7月19日 和田町が安房8町村合併検討会に加入

8月9日 安房8町村合併協議会設置

9月19日 鋸南町が合併協議会からの離脱を表明

10月8日 鋸南町長が発言の責任をとるとして4日に提出した退職の申し出を議会が承

	認
11月21日	鋸南町長選挙で辞職した前町長が再選
12月1日	鋸南町を除く7町村の首長、議長会議で7町村での法定合併協議会を新たに設置することを確認
12月14日	富浦町議会、富山町議会、三芳村議会、白浜町議会、千倉町議会、丸山町議会、和田町議会において、安房7町村合併協議会設置議案の議決
12月15日	安房7町村合併協議会設置
12月16日	第1回合併協議会（富浦町、富山町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町）
	・新市の名称を承認
	・合併の方式を承認
	・合併の期日を承認
	・新市の事務所の位置を承認
平成17年	
1月20日	第3回合併協議会
	・新市建設計画の承認
2月8日	合併協定書調印
2月8日	富浦町議会、富山町議会、三芳村議会、丸山町議会において、合併議案の議決
2月9日	和田町議会において、合併議案の議決
2月10日	白浜町議会、千倉町議会において、合併議案の議決
2月18日	富浦町長、富山町長、三芳村長、白浜町長、千倉町長、丸山町長、和田町長が県に対し合併申請書を提出
2月28日	安房8町村合併協議会廃止
4月6日	県議会において、富浦町、富山町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の合併を議決
4月12日	富浦町、富山町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の合併を県知事が決定、県知事から総務大臣に届出
5月13日	総務大臣による合併の告示
平成18年	
3月20日	合併

(4) 合併の特徴

庁舎の位置

富浦町役場（富山町役場、三芳村役場、白浜町役場、千倉町役場、丸山町役場、和田町役場は支所）

議会議員の取扱い

在任特例を適用せず。（合併前の定数 102 人）

定数及び選挙区：定数 25 人。設置選挙に限り選挙区を設ける（7 選挙区）。

農業委員会の取扱い

在任特例を適用せず。（合併前の定数 109 人）

定数及び選挙区：定数 27 人。選挙区を設ける（4 選挙区）。

地方税の取扱い

各市村で差異のあるものについては、原則として、合併時に統一する。

地域自治組織

地域審議会を合併前の町村の区域ごとに設置する。なお、設置期間は、合併の日から平成 28 年 3 月 31 日までとする。

合併後の住居表示

・安房郡富浦町	（字）	南房総市富浦町	（字）
・安房郡富山町	（字）	南房総市	（字）
・安房郡三芳村	（字）	南房総市	（字）
・安房郡白浜町	（字）	南房総市白浜町	（字）
・安房郡千倉町	（字）	南房総市千倉町	（字）
・安房郡丸山町	（字）	南房総市	（字）
・安房郡和田町	（字）	南房総市和田町	（字）

（5）合併関係市町村の概況

富浦町

人口	5,424 人（平成 18 年 3 月 1 日現在常住人口）
面積	25.69 k m ²
沿革	昭和 30 年 3 月 31 日合体 八束村、富浦町
町長	遠藤一郎（合併時）
議長	大矢康昭（合併時）
議員定数	14 人（合併時）
職員数	70 人 うち一般行政職 42 人（平成 17 年 4 月 1 日）
財政規模	普通会計歳出合計 2,637,921 千円（平成 16 年度決算）

富山町

人口	5,710 人 (平成 18 年 3 月 1 日現在常住人口)
面積	40.34 k m ²
沿革	昭和 30 年 2 月 11 日合体 岩井町、平群村
町長	平野喜男 (合併時)
議長	渡邊政久 (合併時)
議員定数	14 人 (合併時)
職員数	119 人 うち一般行政職 54 人 (平成 17 年 4 月 1 日)
財政規模	普通会計歳出合計 3,013,908 千円 (平成 16 年度決算)

三芳村

人口	4,659 人 (平成 18 年 3 月 1 日現在常住人口)
面積	33.92 k m ²
沿革	昭和 28 年 5 月 1 日合体 稲都村、滝田村、国府村
村長	中川豊昭 (合併時)
議長	川名晴作 (合併時)
議員定数	14 人 (合併時)
職員数	66 人 うち一般行政職 38 人 (平成 17 年 4 月 1 日)
財政規模	普通会計歳出合計 2,354,324 千円 (平成 16 年度決算)

白浜町

人口	5,531 人 (平成 18 年 3 月 1 日現在常住人口)
面積	17.07 k m ²
沿革	昭和 29 年 3 月 3 日合体 長尾村、白浜町
町長	早川一郎 (合併時)
議長	高木一康 (合併時)
議員定数	14 人 (合併時)
職員数	88 人 うち一般行政職 49 人 (平成 17 年 4 月 1 日)
財政規模	普通会計歳出合計 2,511,802 千円 (平成 16 年度決算)

千倉町

人口	12,301 人 (平成 18 年 3 月 1 日現在常住人口)
面積	36.64 k m ²

沿革 昭和 29 年 4 月 1 日合体 健田村、七浦村、千倉町
 昭和 29 年 8 月 1 日編入 千歳村

町長 木下敬二（合併時）

議長 鈴木義雄（合併時）

議員定数 18 人（合併時）

職員数 168 人 うち一般行政職 110 人（平成 17 年 4 月 1 日）

財政規模 普通会計歳出合計 4,580,998 千円（平成 16 年度決算）

丸山町

人口 5,453 人（平成 18 年 3 月 1 日現在常住人口）

面積 44.11 k m²

沿革 昭和 30 年 3 月 15 日合体 千倉町（一部）、豊田村、丸村
 昭和 31 年 9 月 1 日編入 南三原村（一部）

町長 石井洋（合併時）

議長 鈴木卓夫（合併時）

議員定数 14 人（合併時）

職員数 89 人 うち一般行政職 58 人（平成 17 年 4 月 1 日）

財政規模 普通会計歳出合計 4,515,825 千円（平成 16 年度決算）

和田町

人口 5,471 人（平成 18 年 3 月 1 日現在常住人口）

面積 32.45 k m²

沿革 昭和 30 年 3 月 31 日合体 和田町、北三原村
 昭和 31 年 9 月 1 日編入 南三原村（一部）

町長 中山外一郎（合併時）

議長 羽山和夫（合併時）

議員定数 14 人（合併時）

職員数 82 人 うち一般行政職 51 人（平成 17 年 4 月 1 日）

財政規模 普通会計歳出合計 2,742,578 千円（平成 16 年度決算）



旧富浦町役場（現南房総市役所本庁）



旧富山町役場（現富山支所）



旧三芳村役場（現三芳支所）



旧白浜町役場（現白浜支所）



旧千倉町役場（現千倉支所）



旧丸山町役場（現丸山支所）



旧和田町役場（現和田支所）